

会報 兵シ協だより

[令和7年 新年号 ~30周年記念号~]

2025

WINTER

Vol. 67



CONTENTS

- * 新年のご挨拶(会長)
- * 知事挨拶 労働局長挨拶
- * 30周年記念事業
 - 30年の歩み
 - 事業推進大会
 - 全シ協女性代表者会議
 - シルバーフェスティバル
 - 映画上映会のお知らせ
- * 安全・適正就業への取り組み
- * 無事故メッセージリレー
- * 高齢者活躍人材確保育成事業
- * 健康づくり
- * 設立40周年を迎えたセンターからのメッセージ
- * 兵シ協からのお知らせ

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

私たちはSDGsに取り組んでいます

(公社)兵庫県シルバー人材センター協会

<http://www.hyogo-silver.jp/>

ご挨拶



公益社団法人
兵庫県シルバー人材センター協会

会長 岩田 強

新年おめでとうございます。

皆様方には、輝かしい新年をお迎えになられたことと、心からお慶び申し上げます。

昨年は、私ども兵シ協にとって、設立30周年という記念すべき節目の年でありました。

「共にお祝いをする」今日までの発展を導いて頂いた「先人への感謝」この2点を根底に、主な既存事業である、秋の事業推進大会や、フェスティバルなどを記念事業と位置づけ、創意工夫し、内容を充実した形で実施いたしました。「兵庫県内34センター相互の連携と交流を深める」といった30周年の意義・目的は、多くの方々の積極的なご参加によって、十分達成され、成果を挙げたものと受け止めています。

ご協力に感謝申し上げます。

今後は、これを礎に、兵シ協が一層発展することを願うばかりです。

さて今、シルバー業界をつぶさにみると、多くの困難に直面しています。最も大きな課題は、会員数の減少です。兵シ協全体を俯瞰したとき、平成21年度をピークに、漸減傾向が続いています。もとより、会員数の確保は、シルバー人材センターが、今後も仕事を通じて、地域社会への貢献という役割を果たしつつ、持続可能な組織として、発展してゆく基盤になることは、申すまでもありません。

「人生100年時代」と言われる中で一段と高齢化が進み、その役割が年々高まっていることも踏まえ、全センターの共通の課題として、これが対策に、工夫した取り組みを進めていかなければなりません。

加えて、懸案のインボイス制度、現在適用されている軽減税率の延長を、引き続き、全シ協や、県内各センターとの協力のもとで、力強く要請していくことも極めて重要です。

今年は「巳」年です。冬に根をはった草木が芽を出し、「新しい種子が生まれる」という意味があり、「起点」の年とも言われているそうです。

昨年の、兵シ協設立30周年記念事業で培った、より深い連携、連帯のもとに、令和7年度が「起点」、新たな出発の年として、これまで以上に充実した活動を展開すべく、共に頑張ってください。

会員の皆様には安全就業に努めて頂くとともに、関係各位のご健勝にてのご活躍を心からお祈り申し上げます。



会 長	岩 田 強	(公社)尼崎市シルバー人材センター
副 会 長	高 島 隆 三 郎	(公社)姫路市シルバー人材センター
副 会 長	藤 原 睦	(公社)加古郡広域シルバー人材センター
専務理事	住 本 昌 彦	(公社)兵庫県シルバー人材センター協会
理 事	中 塚 弘 明	(公財)神戸いきいき勤労財団 神戸市シルバー人材センター
理 事	塩 澤 良 治	(公社)猪名川町シルバー人材センター
理 事	川 西 三 良	(公社)加古川市シルバー人材センター
理 事	村 上 明 廣	(公社)西脇・多可シルバー人材センター
理 事	敏 森 正 勝	(公社)佐用町シルバー人材センター
理 事	川 角 秀 夫	(公社)養父市シルバー人材センター
理 事	藤 本 幹 雄	(公社)丹波市シルバー人材センター
監 事	東 仲 益 司	(公社)三田市シルバー人材センター
監 事	高 見 奎 二	(公社)高砂市シルバー人材センター



新春メッセージ 新たな兵庫のスタート

兵庫県知事 齋藤 元彦

新年あけましておめでとうございます。

昨年、再び県民の皆様のご負託をいただき、知事として2期目のスタートを切りました。この3年間、兵庫の未来をつくる様々な改革や取組に全身全霊をかけて挑戦してきました。今、その成果がようやく実りつつあります。この流れを止めるわけにはいきません。県議会、市町、県職員、そして県民の皆様とともに、オール兵庫で躍動する兵庫の実現に向けた次の一歩を踏み出してまいります。

一つには、若者が輝く兵庫づくりです。

少子化の時代だからこそ、若者に直接届く施策を推進します。県立大学の無償化や奨学金返済支援制度など、多くの県民の皆様から期待が寄せられている教育費の負担軽減に取り組みます。また、県立高校の環境整備、高校生チャレンジ留学の拡充、不登校対策の強化、不妊治療支援施策の充実など、若者が持つ不安を解消し、将来の夢に挑戦できる環境をつくります。

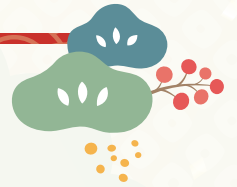
二つには、誰もが活躍できる兵庫づくりです。

多様な自然や文化、産業、そして、地域の現場で活躍する県民の皆様が、兵庫の強みです。万博後の持続可能な地域づくりの原動力とすべく、ひょうごフィールドパビリオンの取組を加速させます。水素などの次世代産業やスタートアップ、有機農業など、兵庫が持つポテンシャルをさらに磨き上げ、社会課題の解決と産業の活性化の両立を図ります。

三つには、安全安心に暮らせる兵庫づくりです。

阪神・淡路大震災から30年の節目を迎えます。1月17日に「ひょうご安全の日のつどい」を開催するとともに、万博期間中の9月には「創造的復興サミット」を開き、創造的復興の歩みを改めて確認し、広く発信します。能登半島地震等で浮き彫りになった課題への対応策をとりまとめ、防災訓練や地域防災計画の見直しに反映させます。さらに、特殊詐欺被害対策や客引き防止対策、横断歩道安全対策など、子供から高齢者まで、誰もが安全安心に暮らせる環境を整えます。

丁寧な対話と謙虚な姿勢を胸に刻み、しっかりと県政を前に進めていきます。皆様のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。



年頭のあいさつ

兵庫労働局長 赤松 俊彦

新年、あけましておめでとうございます。

シルバー人材センター会員の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は、岩田会長を始め、役員及び会員の皆様には、労働行政の推進に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

兵庫県での生活も半年を過ぎ、安全祈願を兼ねて西国三十三札所のうち四所ある県内の観音巡礼を行いました。また、県内最古といわれる廣田神社、あびす神社の総本社である西宮神社を始め、各地の寺社仏閣に参拝させていただいております。

今年は阪神・淡路大震災から30年の節目の年になります。様々な思いで新年をお迎えされていることと拝察いたします。本年もこれからも活力あふれる兵庫県であることを願ってやみません。

兵庫県の雇用情勢は、持ち直しの動きに弱さがみられるところですが、また、少子高齢化や人口減少等に伴い多くの企業において人手不足が深刻化する中で、今後ますます労働生産性を向上させることが重要になります。

高齢者雇用対策については、人生100年時代と言われる中で、働く意欲と能力がある限り、年齢に関わりなく活躍し続けることが出来る社会の実現を目指し、各企業に対し高齢者雇用安定法により定められています「70歳までの高齢者就業確保措置の努力義務」の導入に向けた周知を行うとともに、「65歳までの高齢者雇用確保措置」が全ての企業において確実に実施されるよう引き続き周知と支援に努めてまいります。

一方で、高齢者の方々は、他の年代の方に比して多様な就業ニーズを持たれており、企業での雇用によらない、いわゆる「生きがい」や「社会貢献」などを目的とした自身のライフスタイルにあった働き方を望まれる方も少なくありません。シルバー人材センターにおかれましては、それらの要望や期待に応え、地域の日常生活に密着した就業機会の確保に積極的に取り組むことにより、我が国の経済を支えてこられた方々が、地域社会の支えとして活躍できる場の創出にご尽力いただいているところです。就業を通じた高齢者の生きがいや居場所づくりは今後益々重要となり、「自主・自立・共働・共助」の理念に基づくシルバー人材センター事業が、より一層積極的に展開されることを期待しております。

最後になりますが、本年が貴協会並びに会員の皆様にとって、発展と飛躍の年になりますよう心から祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。

設立30周年記念事業

シルバー人材センター
30年の歩み

創設期

昭和56年
1月

兵庫県シルバー人材センター連絡協議会設立(事務局:姫路市)

法制化

昭和61年
10月

「高年齢者等の雇用の安定等に関する法律」の一部改正、
シルバー人材センターが法的に位置付けられた。

連合制度

平成6年
7月

社団法人兵庫県シルバー人材センター協会設立

2002

平成14年
12月

宍粟郡一宮町にSC設立され、全県下に設置(全国4番目)

2004

平成16年
12月

高齢法の改正
(派遣法の特例として「届出」により一般労働者派遣事業が可能となる。)

2011

平成23年
4月

伊丹市シルバー人材センターが公益社団法人へ移行

2012

平成24年
4月

兵庫県シルバー人材センター協会及び
県内32シルバー人材センターが公益法人へ移行

2012

平成24年
10月

高齢法の改正により、「届出」により有料職業紹介事業が可能となる。

それからの 歩み

平成28年
4月

高齢法の改正により、知事の指定により職業紹介事業及び
シルバー派遣事業で業務拡大(週40時間までの就業)が可能となる。

2016

平成28年
9月

「シルバー人材センターの適正就業ガイドライン」が制定された。

2020

令和2年
1月

新型コロナウイルス感染症の拡大により緊急事態宣言が発令され
社会経済活動が停滞する。

2021

令和3年
6月

派遣事業事務集中化を試行実施
(令和3年度:9センター、令和4年度:16センター、
令和5年度:6センター対象、令和6年度に全センター)

2022

令和4年
10月

兵庫県シルバー人材センター協会並びに兵庫県内シルバー人材
センターが全国シルバー連合で初のSDGs推進宣言を行う。

2023

令和5年
10月

適格請求書等保存方式(インボイス制度)導入

2024

令和6年
7月

協会設立30周年を迎える。

事業推進大会

令和6年度兵庫県シルバー人材センター事業推進大会は、華やかな式典にふさわしい秋晴れの中、10月31日(木)に協会設立30周年記念大会として盛大に開催されました。

兵庫労働局より赤松労働局長、兵庫県より原田産業労働部長にご臨席賜り、永年にわたりシルバー事業に貢献された、8団体及び、役員・会員・職員の573名が表彰されました。

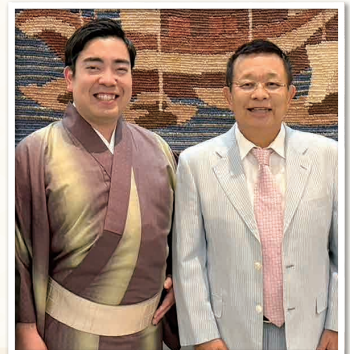
大会後半では、島田洋七さんの講演と徳永ゆうきさんのミニライブで大変盛り上げていただき、多くの皆さまとの有意義な時間となりました。



令和6年度事業推進大会



岩田会長あいさつ



徳永ゆうき氏・島田洋七氏

全シ協女性代表者会議

令和6年10月10日～11日、ホテルモントレ姫路にて、第20回シルバー人材センター全国女性代表者会議が開催され、兵庫県シルバー人材センター協会として、30周年記念事業の一貫として協力させていただきました。全国女性代表者が一堂に会し、シルバー事業の拡充を図ることを目的とした事例発表や分科会が行われました。

1日目 全国的に会員数減少が続く中、今後の会員数増加を図るためには、増加傾向にある女性会員の更なる拡大や会員の健康づくりが不可欠です。そこで、愛知県の蒲都市シルバー人材センターより会員拡大の取り組みについて、千葉県の山武市シルバー人材センターより健康になる就労プロジェクトについての事例発表がありました。分科会においては、狛江市シルバー人材センター事務局長より、メディア活用を取り入れた会員拡大やシルバー広報への取り組みが紹介されました。

2日目 竹田城ガイドとして就業されている、朝来市シルバー人材センターの会員より、シルバー人材センターへの入会のきっかけやセンター会員としての充実した生活についてお話がありました。その後の姫路城視察では、姫路市シルバー人材センター会員の観光ガイド付きで引率していただき、やりがいを感じながら就労されている会員の姿を拝見でき、実りある時間を過ごすことができました。



全国女性代表者会議



姫路城



姫路城観光ガイド

シルバークフェスティバルinスペースシアター2024

令和6年11月17日(日)神戸ハーバーランド スペースシアターにて「シルバークフェスティバル」を開催しました。当協会設立30周年となる今回は、県内10センターにご参加いただき、当日は大勢の県民の方々が来場され、賑やかな一日となりました。

イベントステージでは、50代から80代で結成されたアマチュアチアダンスチームであるキャサリンラビットによるチアダンスショー、朝来市シルバーによる懐メロでちょいとレ、シルバーコレクション'24、養父市シルバーによるやぶから棒体操などが披露され、さらには歌手活動の他バラエティーなど多数の番組で大活躍の、当協会イメージキャラクター 徳永ゆうきさんによるミニコンサートが行われ、素晴らしい歌声と楽しいトークで会場を大いに盛り上げていただきました。

また、各センターの出展ブースでは、会員による手作りアクセサリー、ポーチなどの小物から衣類、また野菜類、お米など食品も多数販売され、多くの方々にご購入いただきました。商品ご購入者にはガラポン抽選会で、徳永ゆうき特製アクリルスタンド、養父市特産温石米など、豪華賞品をプレゼントさせていただきました。

今年度は新たに各種ワークショップも開催され、こちらも多くの方に楽しくご参加いただきました。

今年も各センターのご協力のおかげでこのイベントが盛り上がり、シルバー人材センターの活動を多くの方へ大きくアピールすることができました。



設立30周年記念事業
シルバークフェスティバル

11/17
日曜日

神戸ハーバーランド
場所:スペースシアター
時間:11:00~15:30

ぜひ、遊びに来て下さいね!!

千鳥の鳥レンジャー
でお待ちします!!

徳永ゆうきさんミニコンサート

ファッションショー
SDGsワークショップ
野菜・お米販売ブース

オープニングショー
手づくり小物販売
モールドール・ストーンアート
神戸の特産品・尼みやげ
バルーンアート

ガラポン抽選会
500円以上お買い上げの方に抽選でプレゼントいたします!!(盛りなし)

1等 「徳永ゆうきサイン入りアクリルスタンド&エマーゼンシーボトル」
2等 エマーゼンシーボトル
3等 養父市特産「温石米」1kg
参加賞 除菌ウェットティッシュ

長寿県シルバー人材センターはSDGs推進に取り組んでいます。サステナブルな社会実現を目指しボランティア活動など地域社会へも貢献しています。

主 催 (公)長寿県シルバー人材センター協会



SDGsの推進について

当協会では事業を進める上で、「誰一人取り残さない、持続可能な社会の実現」というSDGsを規範の一つとして、シルバー会員自らが就労を通じて生活の質の向上を図り、健康寿命を延ばし、教育支援や技術伝承をしていくことで、働きがいを持って経済の成長に貢献していくこと、また、女性会員を増やし、その意見を事業に反映することでジェンダーギャップの解決にもつなげることを目指しています。

この度、シルバークフェスティバルの中でひょうごSDGsネットワークとタイアップし、大人からお子様まで楽しみながらSDGsの理解を深めるよう、SDGs紙芝居を実施しました。

今回の紙芝居では、SDGsの各ゴールについてクイズ形式で学んだり、食べ物の大切さや日本の伝統や風習を持続可能にしていくためにはどうするか等について考えることができる3つのストーリーが用意されており、子供から大人まで楽しくSDGsを学ぶことができました。

なお、この紙芝居のうち、「令和の忍者虎丸」はシルバークフェスティバルのために書き下ろしていただいたとのこと。手作りならではのぬくもりと味わいがありました！



映画上映会のお知らせ

記念事業の一環として、10周年を迎えるラジオ関西「笑って暮らそう」とタイアップし、映画「オレンジ・ランブ」上映会を開催いたします。人と人が支え合う大切さや認知症についての理解を深め、安心して暮らせる社会づくりにつなげませんか？

皆さま、お誘いあわせの上、是非お越しください。

日時：令和7年2月26日(水) 開演12:00

会場：神戸市立東灘区文化センター
うはらホール

JR/六甲ライナー「住吉駅」下車、
南側へ徒歩3分

会費：無料



安全・適正就業への取り組み

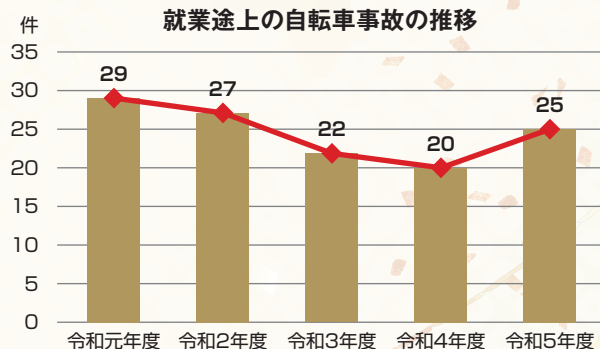
自転車事故の注意喚起

過去5か年における就業途上の自転車事故はグラフのとおりで、20件を下回ることはありませんでした。

昨年3月14日に兵庫県交通安全協会から講師を招き、自転車事故対策についての講習を実施したところです。

令和6年度では当該講習の成果がでることを期待しております。

また、自転車利用にあたっての注意事項を参考にご紹介いたします。



- (1) シルバー会員は加齢とともに視力、聴力、平衡感覚、敏捷性、調節力、柔軟性などの身体機能も低下していることを認識すること。
- (2) 乗り降りの際には身体のバランス、天候による危険性、例えば降雨の時はスリッパや強い風に、段差のあるところでは自転車を降りるなどの「予測・考慮」をして利用するなどに留意すること。
- (3) 走行中はハンドルを急に切らない。スピードを出し過ぎない。脇見運転をしない。降雨時に傘をさしながらの片手運転をしない。バランスを失わないようにするなどに留意すること。
- (4) 万一来て備えて自転車用ヘルメットを着用すること。



熱中症について

昨年の夏は厳しい猛暑が続き、就業中の熱中症が多く発生しました。

令和元年度から令和6年度の神戸市での8月の猛暑日と熱中症発生件数の関係について考察したところ、下記の状況でした。

熱中症アラートなどの情報に特に注視していただきますよう、お願いいたします。



年度	35℃以上(猛暑)の日数	請負業務での熱中症発生件数	派遣業務での熱中症発生件数	合計
元	6日	3件	1件	4件
2	10日	12件	0件	12件
3	3日	2件	0件	2件
4	0日	3件	0件	3件
5	10日	7件	2件	9件
6	14日	10件	1件	11件

洲本市シルバー人材センターの安全就業の取り組み

公益社団法人洲本市シルバー人材センター
常務理事兼事務局長 毛笠 俊明

当センターは、312名の小規模な団体であります。シルバー人材センター事業を進める上で、「安全はすべてに優先する」を合言葉に、会員一人ひとりが安全に安心して働ける環境づくりを進めるとともに、法令を順守した就業によって地域社会に貢献していくことをめざしております。

令和4年11月15日から令和6年1月9日にかけて無事故記録420日となり、この度栄えある最優秀賞(Aグループ)をいただくこととなりました。

活動自体は他のシルバーと比べ特筆すべき活動をしていませんが、会員、職員ともども上記スローガンを基本として、以下の取り組みをしています。

(1)安全・適正就業委員会の開催

理事2名、職員2名、安全・適正就業推進委員1名、合計5名で構成する安全・適正就業委員会を設置しており、年3回程度の委員会を開催し、年度ごとの基本計画、安全・適正就業パトロールの実施について、精度を高めるべく検討を重ねております。

(2)安全・適正就業パトロールの実施

安全・適正就業委員会によるパトロールを毎年9月、2月の2回、特に事故発生率の高い草刈り、剪定作業現場、資源ごみ分別のストックヤードを巡回しています。また、他の現場でも、作業に従事している会員からの作業環境等の聞き取りや、目視により危険な状態を確認した場合、会員には直接の指導と発注者には安全性確保の依頼をしています。パトロール終了後には、更なる安全性を高めるため、注意点、改善指導の内容を検討、整理し、直近の理事会に報告しています。

(3)草刈機取扱講習会への参加と職員、会員による事前の現場確認

年1回程度であります。初心者、熟練者問わず草刈機取扱講習会への参加を促しております。

また、作業現場においては、事前に職員、会員ともども現場に赴き、法面の勾配、草の丈を確認、危険と判断した場合は断りを入れています。剪定についても、樹の高さ、脚立の設置場所の安全確認を行った上で実施しています。

(4)シルバーだより(会報誌)を通じての安全・適正就業への呼びかけ

月一回、シルバーだよりを発行し、安全就業への取り組みを始め、熱中症、虫刺され対策、季節性インフルエンザ対策、フレイル予防への周知、また、道路交通改正法に係る情報等も掲載し、安全運転についても周知徹底を図っているところであります。

今後も、他のシルバー人材センターの取り組みを参考としながら、安全・適正就業を更に推進してまいります。



中野理事長



草刈機講習会



安全・適性就業パトロール

厚生労働省 兵庫労働局委託 高齢者活躍人材確保育成事業

高齢者活躍人材確保育成事業とは、人手不足分野や現役世代を支える分野で高齢者の就業を促進するため、60歳以上のシルバー人材センター会員を育成する事業です。当協会では、地域の高齢者が上記分野にて就業するにあたり、必要な知識及び技能を習得することを目的として、技能講習・就業体験を企画・運営し、一人でも多くの高齢者の活躍の場を確保し、臨時的かつ短期的、または軽易な業務に係る就業への支援を行っています。今年度は県内各地で14種類の「技能講習」と3種類の「就業体験」を計画、実施しています。

	実績(10月末時点)	年間計画
技能講習の回数	46回	74回
技能講習受講者(修了者)合計	499人	740人
就業体験の回数	3回	3回
就業体験受講者(修了者)合計	18人	9人



女性限定「ときめくお洒落」講習会



刃物研ぎ講習会



フレイルサポーター養成講習会



施設清掃講習会



受講生からの声



女性限定「ときめくお洒落」講習 (マナー&メイク講座)

- ・電話対応など改めて学べとてもよかったです。
- ・観光ガイドをしているので役立つ内容でした。
- ・他の方が美しく変化されるのを見てメイクの効果が実感され、ワクワクときめきました

施設清掃講習

- ・昨年よりマンションで清掃作業を行っており、今後役立てていきます。
- ・勉強になります。すごく役に立ちます。プロはすごいです!
- ・細かい作業方法、お客様への接し方が非常に役に立ちました。

ハウスクリーニング講習

- ・短時間で内容も濃くハードでしたが集中できました。
- ・内容がすべて目から鱗であり、生活にも役立てられると思いました。
- ・講師の素人目線での説明が、明るくてとてもよかったです。

介護&生活支援講習

- ・仕事に対する心構えができました。機会があれば働きたいと思います。
- ・知らない事ばかりでしたが、色々な気づきをいただき、仕事をやってみようと思えました。
- ・講師の体験を沢山話していただいたので、わかりやすく仕事にもすぐ役立つと思えました。

刃物研ぎ講習

- ・剪定の仕事をしていて道具の手入れがわからなかったが、丁寧に指導してもらえました。
- ・砥石で包丁を研いだことがなかったのでとても勉強になりました。
- ・受講生同士のやりとりが勉強になり、コミュニケーションもとれて楽しい講習会でした。

スマートフォン活用講習

- ・写真を送ることができます。仕事に活用します。
- ・職場仲間とラインができるようになり役立ちます。この種の講習を増やしてほしいです。
- ・メール送受信が仕事には必須なので、この講習が大いに役立ちました。

健康づくり

【認知症について】

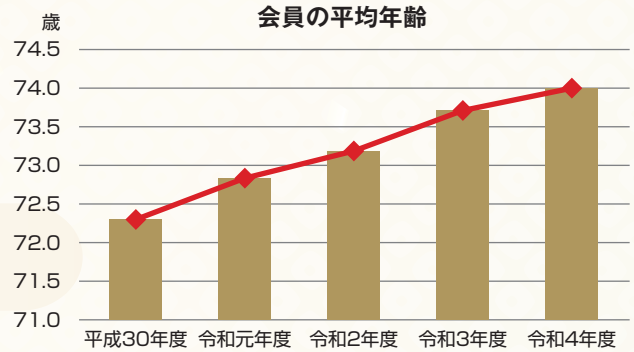
厚生労働省の統計によると、65歳以上で認知症にかかっている人は2012年時点で462万人(7人に1人)おり、2025年には約700万人(約5人に1人)がかかると予測されています。

県内シルバー人材センターにおいても、令和4年度末現在で会員の平均年齢が74歳と年々高齢化が進んでいます。

認知機能低下により、場合によっては重大な事故につながる恐れもあります。

シルバー人材センターは、「安全はすべてに優先する」との基本理念のもと、組織一丸となって、事故ゼロを目指しています。

すべての会員が安全かつ生き生きと就業できるよう、兵シ協及びシルバー人材センターが一丸となってサポートしていきましょう。



設立40周年を迎えたセンターからのメッセージ

公益社団法人三木市シルバー人材センター
理事長 森本 敏

三木市シルバー人材センターは、昭和58年12月に設立され、このたび設立40周年の記念すべき節目を迎えることができました。

これもひとえに、会員のご尽力はもとより、地域の皆様や三木市をはじめとする関係機関の温かいご支援の賜物であり、心から感謝申し上げます。

設立から40年が経過し、センターを取り巻く環境は、めまぐるしく変化してまいりました。

とりわけ、コロナ禍においては1年間の経常収支が大きく減収するなど、財政運営に多大な影響が出ました。

また、インボイス制度の導入によって消費税の取扱いが大きく変化し、配分金に含まれる消費税相当額を新たな経費として納税することになったほか、フリーランス法の施行に伴い、契約方法の見直しなどが求められています。

センターとしましては、役員、職員が一丸となって事業の効率化やコストの削減等を図り、安定した事業運営に努めるとともに、より一層地域社会に貢献できるよう精進してまいります。

今後とも兵庫県シルバー人材センター協会をはじめ、県内各センターの皆様方のより一層のご支援、ご指導を賜りますよう心からお願い申し上げます。



安全就業推進



金物まつり



刃物研ぎ(山田錦の館)

兵シ協からのお知らせ

令和6年度 兵シ協が実施する研修会の実施状況

兵庫県シルバー人材センター協会では、県内の各センターを対象に毎年様々な研修会を実施しており、大きく分けて「階層別研修」と「分野別研修」の2種類となっています。「階層別研修」は、「役員」、「事務局長」、「監事」など職員の階層・役職ごとに研修を行い、「分野別研修」は「安全就業」や「適正就業」などの事業ごとにセンターの担当者を対象とした研修会を行っています。

【階層別研修】

研修名	開催日	参加人数
役職員研修会	6月11日(火)	106名
新任役員・事務局長研修会	7月22日(月)	39名
役員研修会	12月12日(木)	49名
次世代職員育成研修会	1月29日(水)～30日(木) 予定	—

【分野別研修】

研修名	開催日	参加人数
ブロック別安全就業講習会(県内各ブロック)	5月～6月	142名
業務別実務担当職員研修会	8月22日(木)	91名
派遣会員安全研修会	通年	178名
シルバー派遣事業実務担当者研修会(キャリアコンサルタント)	2月14日(金) 予定	—
安全・適正就業推進委員等研修会	3月14日(金) 予定	—



ご存知
ですか?

「シルバー人材センター職員に対する資格取得補助制度」

兵シ協では、シルバー人材センター職員として業務に必要な資格の取得を促進することを目的として、平成30年度に助成制度を創設し、令和3年度からは対象となる資格を拡大しています。ぜひセンター職員の皆様にご活用いただき、更なるレベルアップを図るとともに自己の能力開発に努めていただきたいと思います。

区分	対象となる資格	支援内容
資格A	日商簿記検定 2級 公益法人会計検定 2級 第一種衛生管理者	外部講習会受講費用全額(交通費実費含む)、受験料(交通費実費含む)。 ただし、2回目以降の受験については受験料(交通費実費は含まない)のみとし、3回目までを限度とする。
資格B	日商簿記検定 3級 公益法人会計検定 3級 第二種衛生管理者	受験料(交通費実費含む)。 ただし、2回目以降の受験については受験料(交通費実費は含まない)のみとし、3回目までを限度とする。

※ご不明な点等ございましたら兵シ協までお問い合わせください

合格

おめでとうございます!

第一種衛生管理者 伊丹市シルバー人材センター 大平 千恵子 様

会報 兵シ協だより 令和7年 新年号

発行日: 令和7年1月1日

発行: (公社)兵庫県シルバー人材センター協会

神戸市中央区下山手通5丁目7番18号

電話: 078-371-8012

シルバー人材センター

